

# 平山 タカヒサ

市民とスクラム！市政にトライ！

2023年  
議会報告 vol 25

自宅 〒891-0116  
鹿児島市上福元町5779-5  
電話 099-267-0300  
携帯 090-8769-6584



## 2023年第1回定例会

2023年第1回定例会は、3月20日の最終本会議において、一般会計約2,789億円の当初予算案や市役所の組織の見直しなどの条例案、その他の議案を可決し、閉会した。一般会計の当初予算規模は、前年度比4.0%増で過去最高となった。

歳出の主なものは、「信頼・共創政策」として不動産団体との連携による町内会加入強化事業や地域の魅力・活力共創事業、ふるさと納税推進事業などに59億円。「自然・環境政策」としてシェアサイクル運営事業や市営合葬墓設置事業などに102億円。「産業・交流政策」

として特別国民体育大会等開催事業や多機能複合型スタジアム整備検討事業、スマート農業推進事業などに105億円。

「健康・安心政策」として重層的支援体制整備移行準備事業や119番映像通報システム整備事業などに1,025億円。「子ども・文教政策」として保育士確保対策事業や放課後児童健全育成補助金など601億円。「都市・交通政策」として歩いて楽しめるまちづくり推進事業や道路通報システム導入事業などに210億円となっている。



## 地域の魅力・活力共創事業

合併地域の支所において、住民とともに策定した計画に基づき、地域活性化アドバイザーを新たに配置し、地域の特色ある農産物の販売促進等により地域活性化を図る。

## 市営合葬墓設置事業

近年の少子高齢化、核家族化の進行に伴うお墓の後継者問題やお墓を持ってない方などに対応するため、最終的な遺骨の受け皿となる合葬墓を星ヶ峯霊園内に設置し、令和6年1月に供用開始する。最大3,000柱を埋葬可能とする。

## スマート農業推進事業

農業者の高齢化等により、産地の生産基盤が脆弱化する中、産地に適したICT等の最先端技術と栽培管理体系とを融合させた新たな営農技術体系の検討や、その導入等の取組を支援する。

## 保育士確保対策事業

待機児童の早期解消のため、保育士等の安定確保に向けて、潜在的保育士就職奨励金や県外保育士就職奨励金を給付するとともに、保育士求人情報サイトへの本市特集ページの掲載や、就職フェアを通じた情報発信を行う。

## 道路通報システム導入事業

SNSから道路や道路照明灯不具合について、市民より通報してもらい、速やかに適切な対応を図るとともに、補修業務等、現場対応における業務の効率化を進め市民サービスの向上に寄与する。

### 平山タカヒサのプロフィール

1967年 11月30日名瀬市（現奄美市）生まれ  
伊津部小学校→西谷山小学校、谷山中学校  
鹿児島中央高校、県立短期大学II部商経科卒業  
1987年 鹿児島市役所入庁  
2015年 9月30日市役所退職  
2016年 4月市議会議員選挙に出馬。初当選。現在2期目

# 市政報告

**代表質疑** 新年度に向けて、市政全般にわたり全27項目の質疑を交わした。以下、主な内容です。

**問** サッカー等スタジアムについては、ドルフィンポート跡地や住吉町15番街区での建設は難しいのではないかと？

**答** 市長：多機能複合型スタジアムにつきましては、今後、本港区エリアの2か所の候補地について検討を進めているが、それぞれ課題がある。スタジアムは、スポーツを生かしたまちづくりや、まちの新たなにぎわいの創出、経済の活性化につながる大変重要な施設であると考えているので、本港区エリアでの整備実現に向けて、市議会における論議や、鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会、及び新たに設置する協議会の状況を踏まえるとともに、市民や関係団体等、様々な方からご意見を伺いながら、引き続き検討を進めたい。

**問** 8・6豪雨から30年目の節目。本市の防災対策について、これまで防災対策を推進してきた中での課題と新年度の取組を含めて示せ。

**答** 防災対策の課題については、8・6豪雨災害以降、国・県・市が一体となって、当時の降水量に耐え得る河川改修等のハード整備やソフト対策の充実・強化を図ってきた。しかしながら、近年、全国各地で大規模な災害が頻発しており、本市においても、災害に強いまちづくりをさらに進めるため、国土強靱化地域計画に基づき、河川の改修や市民の防災意識の向上を図る取組などハード・ソフト両面から防災・減災対策の推進に努めている。30年の節目に当たり、この災害を風化させることなく、その教訓を後世に伝えるとともに、市民の防災意識の向上を図るため、防災シン



ポジウムの開催や啓発リーフレットの配布を行う。これらを通して、市民とともに、本市で発生した大災害を振り返ることにより、自然の猛威や日ごろの備えの大切さ、災害時の適切な避難行動などについて、理解を深めてもらいたいと考えている。

**問** 市営住宅の駐車場の管理を市が行う条例改正について、これまでの管理体制や徴収金の額や使途、使用料の考え方と大幅値上げに対する考え方は？

**答** これまで、入居者等が組織する自動車保管場所管理組合が管理しており、その数は令和4年度時点で107。管理組合が費用を徴収しないところもあるが、概ね管理運営のための費用を利用者から徴収しており、4年度の額は、最低で年500円、最高で年4万8000円、平均で年4,000円。徴収された費用は、駐車場の区画線や注意看板の整備等に充てられているほか、車スペースが不足している住宅では民間駐車場の借上費用にも充てられている。改正後の使用料については、国が示す管理標準条例の規定に沿って近傍同種の駐車場の使用料を限度とし、具体的には県営住宅の状況等を参考としたい。管理については、指定管理者の業務とする予定としており、他都市の状況や各住宅の管理組合の取組などを参考に、5年度に詳細を定めたい。今回の改正は、市営住宅の駐車場を適切に管理するために必要なものと考えているが、駐車場を使用する市民の負担軽減については、何らかの方法を検討したい。



## 社民・立憲・市民フォーラム

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 団長   | 大森 忍 (総務環境委員会)      |
| 副団長  | 森山 きよみ (市民文教委員会)    |
| 幹事長  | 中原 力 (防災福祉子ども委員会)   |
| 政審会長 | まつお 晴代 (市民文教委員会)    |
|      | 秋広 正健 (建設消防委員会)     |
|      | 平山 タカヒサ (産業観光企業委員会) |
|      | 向江 かほり (防災福祉子ども委員会) |